



調査・研究成果の報告を熱心に聞き入る参加者

3/26 **～地方創生事業報告会～
長洲干潟の環境改善を目指して**

町は、熊本北部漁業協同組合や大学などと産官学連携で実施した干潟の再生・保全に向けた調査・研究成果の報告会を開催しました。

報告会では、福岡大学の「長洲干潟におけるフルボ酸鉄シリカ資材（水質浄化作用）を用いたヘドロ浄化に関する基礎的研究事業」と徳島大学・鹿児島大学・水産大学校による「長洲干潟の環境保全・再生に向けた実証試験・研究事業」の調査研究成果として、福岡大学の渡辺教授、徳島大学の中西客員教授、水産大学校の阿部准教授が報告を行い、その後、長洲干潟の環境維持・再生へ向け活発な意見交換が行われました。



布マスクを寄贈した町地域婦人会の石本啓子会長（右）

4/8 **地域で子どもたちを支える
町地域婦人会などが腹赤小に手作り布マスクを寄贈**

町地域婦人会など腹赤校区有志の会は、腹赤小学校に手作り布マスクを寄贈しました。

これは、地元の住民や保護者、同校を卒業した中学生や高校生などが協力して作製し、5日間で延べ70人が参加。児童や教職員のために約330枚を製作しました。

児童代表で上野佑月さんが「これまで以上に手洗いうがいをし、新型コロナウイルスに負けない身体づくりを頑張ります」と述べ、感謝状を贈りました。



所長賞を受賞した那須教諭

2/10 **学校教育の充実と児童生徒の健全育成を目指して
那須ひろ美教諭が教育論文表彰式で所長賞を受賞**

2月10日、那須ひろ美教諭（元長洲小教諭）は、玉名荒尾地区教育委員会連絡協議会（笠久美子会長）が主催する教育論文表彰式で所長賞を受賞しました。

この表彰は、教職員が今日の教育に課題意識を持ち、学校教育の充実と児童生徒の健全育成を目指して研究実践を進めることを目的に実施されています。

那須教諭は、「この論文は、子どもたちの郷土を愛する心を育むために創りあげた道徳の授業についてまとめたものです。コミュニティ・スクールの取り組みや、地域の人々と保護者の理解と協力があって研究を深めることができたので、受賞は大変うれしいです」と話しました。



グッズを寄贈した山口会長（左）と市本副署長（右）

4/3 **新入生に交通安全グッズと防犯グッズを寄贈
安全・安心な学校生活を送ってほしい**

荒尾地区交通安全協会（山口賢一会長）と荒尾警察署（市本和義副署長）は、町役場を訪れ、子どもたちのために交通安全グッズおよび防犯グッズを寄贈しました。

これは、新入生に安全な学校生活を送ってほしいと毎年寄贈されているもので、新小学1年生にはランドセルカバーなど、新中学1年生には反射タスキや自転車ワイヤーロックなどが贈られました。

戸越教育長は「自分の命は自分で守るという意識も持ってもらえるよう、しっかりと啓発をしながら安全意識が高まればと思います」と話しました。